



清園撰
水寺砂魚
阿彌陀佛

百廿七巻一第

深い気持ちの道 おにぎりのグループ

索引

まえがき.....	2
バスケットボールと私 (フィリッポ・ラゴマツギョーレ).....	3
• テーマの動機.....	3
• ヴェローニカさんと対話.....	4
• 結論.....	7
モナ・リサと私 (フィリッポ・ラ・ポルタ).....	8
• テーマの動機.....	8
• リヴィアと対話.....	10
• 結論.....	13
ストーリーを書くことと私 (パオラ・ムツゾロン).....	16
• テーマの動機.....	16
• お父さんと対話.....	19
• 結論.....	22
ドラムと私 (ニコロ・タスカ).....	26
• テーマの動機.....	26
• トムと対話.....	27
• 結論.....	31

まえがき

私はアレックスと申します。9月から12月まで「おにぎり」というグループのチューターとして活動をしてきました。このようなチューターの活動は初めてですから、少し緊張しましたが、学生と一緒に作ったいい雰囲気ののおかげですぐ安心しました。

いうまでもありませんが、ワークショップが始まったとき学生もとても緊張していました。先生方が日本語で質問をなさったら学生は宇宙人を見た顔をして「はい」と答えました。あきらめるのは当然だと思われるにもかかわらず、誰もあきらめませんでした。それどころか、よくがんばって毎週授業に参加して宿題も出しました。うれしいことに、みんな、普通の授業で忙しかったのに一度も欠席しませんでした。

授業中学生は話し合っ自分なりの意見を交換しました。それはこのワークショップの一番良かったところだと思います。というのは、みんなが他人のことに興味を持っていたからです。それに、日本語の知識が深くないにもかかわらず、自分の考えを日本語でよく伝えました。

このワークショップのおかげで、学生は一年生だからといって自分の言いたいことが伝えられないというわけではないと思うようになりました。これからもよくできるに違いありません。

みんな、これからもがんばってください！

リッツァテッロ・アレックス

「バスケットボールと私」

フィリッポ・ラゴマッジョーレ

動機

私は毎日バスケットボールのチームの友達とバスケットボールをすることが好きです。私は家の近くでします。プレイグラウンドがあります。私はろくさいにバスケットボールを始めました。私はプレイメーカーです。今私は大学の選手権をします、それからチームとたくさん試合をします。ときどきわたしたちは勝ちますが、ときどき敵はとても上手です。私はプロ選手になりたいのですが、せが高くありません。そして私はテレビでNBAのバスケットボールの選手権を見ることが好きです。私のいちばん好きなチームはミネソタ・ティンバーウルブズです、それから私のいちばん好きなプレーヤーはコービー・ブライアントですが、彼は四月にいたいしました。勝ことが好きですから、バスケットボールは楽しいです。チームワークがなかったら、チームは勝ちません。だからチームワークはとても大切です。しかし、私は一人でプレイグラウンドでバスケットボールをするとき、私は自由です。私はバスケットと一人の世界にいると感じます。この感情は安らかで素敵です。バスケットボールは自分のために瞬間をです。私はプロ選手に想像します、そして私はマッチの最後のショットをします。私は勝ちたいです。私はコービー・ブライアントのような勝者になりたいです。私は生活の中で勝者になりたいです。でも私は強気見えても、私は失敗するのが怖いのです。従って私はチームスポーツを選びました。私はチームと恐怖を忘れます。だから私にとってバスケットボールは私のいちばん好きなスポーツです。

まいにち = ogni giorno, チーム = squadra, ともだち = amico, いえ = casa, ちかく = vicino, プレイグラウンド = campetto, ろくさい = 6 anni, はじめます = iniziare, プレイメーカー = playmaker, いま = ora, 大学 = università, せんしゅけん = campionato, たくさん = molto, しあい = partita, ときどき = qualche volta, わたしたち = noi, 勝ちます = vincere, てき = avversario, じょうず = bravo, プロせんしゅ = giocatore professionista, になりたいです = voler diventare, たかくない

です = non essere alto, みる = guardare, のいちばん好きな = preferito, プレーヤー = giocatore, 引たいします = ritirarsi, かつこと = vincere, たのしい = divertente, チームワーク = gioco di squadra, なかったら = senza, だから = quindi, たいせつ = importante, しかし = comunque, 一人で = da solo, とき = quando, じゆう = libero, ひとりのせかい = mio mondo, かんじます = sentirsi, かんじょう = emozione, やすらか = armoniosa, すてき = fantastica, そうぞうします = immaginare, マッチ = match, さいご = ultimo, ショット = tiro, ちちたい = voglio vincere, ような = come, しょうしや = vincente, せいかつ = vita, つよき = sicuro di me, みえても = nonostante io sembri, ひんぱん = spesso, しっぱいする = fallire, こわい = spaventato, したがって = per questo motivo, チームスポーツ = sport di squadra, えらびました = ho scelto, きょうふ = paure, わすれます = dimenticare.

対話

1・どうして私はバスケットボールをすきですか。

ヴェローニカさん	どうしてフィリップさんはバスケットボールを好きですか。
私	私の友達は小学校にバスケットボールをしましたから、私はバスケットボールを選びました。バスケットボールは私のいちばん好きなスポーツになりました。最初に私たちはすべての試合に負けました。私は敗北の後にお母さんと泣き出しました。
考えたこと	私の考えは変わりませんでした。

小学校 = scuola elementare, -から = poiché, 選びます = scegliere, いちばん好きな = preferito, なります = diventare, 最初に = all' inizio, すべて = tutte, 試合 = partite, 負けます = perdere, はいぼく = sconfitta, お母さん = mamma, 泣きます = piangere, 出します = iniziare

2・なぜバスケットボールをするとき、私は一人のせかいにいますか。

ヴェローニカさん	今フィリップさんはまだ同じプレイグラウンドで遊ぶのですか。
私	はい、そうです。私は帰るとき、私は毎日そこで遊びます。時々私は他の人に挑戦します。しかしとりわけ私は一人で遊ぶことが好きです。
ヴェローニカさん	どうして。
私	その瞬間は私にとって特別なものです。バスケットボールをするとき、それは自分のための瞬間です。夜に一人でバスケットボールをするとき、私はその日について考えます、そして私は怒りを注ぎます。
考えたこと	その瞬間は自分にとっても大切です。対話の後で、私の意見は同じです。でも、私は自分のためにもっと時間をもっていきたい。

同じ = medesimo, 遊びます = giocare, 帰ります = tornare a casa, 他の人 = altre persone, 挑戦します = sfidare, とりわけ = soprattutto, 瞬間 = momento, 特別な = speciale, 考えます = pensare, 怒り = rabbia, 注ぎます = sfogare, 意見 = opinione, もっていききたい = voglio avere
 3・どうして私は勝者になりたいですか。

ヴェローニカさん	どうしてコービー・ブライアントはフィリップさんのいちばん好きな選手ですか。
私	コービー・ブライアントはバスケットボールの歴史の中で最も勝者選手のひとりです。彼は自信をもっていましたから、彼は私のいちばん好きなプレーヤーです。私はあまり自信をもっていません。私はコービー・ブライアントのようになりたいですが、私は毎日自分に向かって戦います。自分の中にすべき事を直ぐする

	気持ちがあります。でも、その事を延期する気持ちもあります。
ヴェローニカさん	何々。フィリッポさんはもっと説明できますか。
私	しばらく後、私は退屈します。私はバスケットボールだけで自信をもっていました。毎日私はバスケットボールをしたいです。私は生活の中で勝ちたいですが、私は生活の中でも自信をもつことを学ぶ必要があります。 あなたはなにか助言がありますか。
ヴェローニカさん	意志力はとても大切です。かんたんではありません。私は毎日のプログラムをします、そして私は事を延期しません。
考えたこと	ヴェローニカさんの意見はとても役に立ちました。たいわの後で、毎日私はもっと決心している。今私は私の生活を変えたいです。ヴェローニカさんは私のチューターです。私たちはチームのようです。だから私の生活の中にはまだチームワークがあります。今毎日私たちはお互いを手伝います。

選手 = atleta, giocatore, 歴史の中で最勝者 = più vincenti, 彼 = lui, 自信 = fiducia in se stessi, よう = come, 、向かって戦います = combatto contro
すべき事 = le cose da fare, 直ぐ = subito, 気持ちがあります = sento, 延期する = rimandare, 説明できます = spiegare, しばらく = poco, 退屈します = annoiarsi, 生活 = vita, 学ぶ必要があります = è necessario che impari, 助言 = consiglio, 意志力 = forza di volontà,
役に立ちます = essere utile, 決心 = determinazione, 変えたい = voglio cambiare

結論

バスケットボールは自分の大切な分です。私は小学校にバスケットボールを始めました。それから、私はまだバスケットボールをしています。私は対話のおかげでたくさん事を分かりました。私は生活の中で勝ちたいです。でも、私は初めに自信をもつことを学ぶ必要があります。それどころか、私は私の生活を変えたいです。私はそしてバスケットボールは私に勝つためにチームワークが勝必要だと教えました。私とヴェローニカさんはチームのようです。だから私の生活の中にはまだチームワークがあります。

-のおかげで = grazie a - , 学ぶ必要があります = è necessario che impari, 勝つために = per vincere, 必要 = necessario, 教えます = insegnare, よう = come

アクション0のプロジェクトは自分のためにとっても有用でした。アクション0は自分のために瞬間をでした。今、私は自分をよく知っています。ヴェローニカさんと私の関係はとても大切です。バスケットボールは私に生活の中でチームワークの重要性を教えました。チームは勝つために必要です。だから、私とヴェローニカさんは生活の中でチームです。スポーツはとても大切でした。アクション0の後で私は生活の中で自信をもっています。

「モナリザと私」

フィリップ・ラ・ポルタ

動機

私はフィリップです。私は友達ともだちと旅行りょこうが好きです。私は家族かぞくとも旅行が好
きです。私の好きな旅行はパリです、いい思いおもがありますからです。

ぜんかい私はパリに行きました、新年しんねんでした。私は多いおおモニュメントを見
ました、たとえばエッフェルとう。ともかく、ルーブルびじゅつかんぶか深い気
分がいました、とくにレオナルド・ダ・ヴィンシのモナリザ見ましたときで
す。

モナリザの目が好きでした、ふしぎうごが好きからです。モナリザの目動きま
す。私はとても吃驚びっくりでした。

かんけいかんけいの私とモナリザは穏やかおだでした。その瞬間しゅんかん私は一人せけんの世間からでし
た。巨漢きょかんでした。

たくさんの管区客かんくきやくはモナリザが好きではありませんでした、まあ簡単かんたん
肖像しょうぞうからです。私のにとってモナリザは簡単肖像かんたんしょうぞうだけはありません。で

も、かのじよは精神せいしんがいます。私はモナリザちょっと誤解ごかい見ました、多い人
だけがいけん見ますからです。時々私もちょっと誤解です。

私にとって私のパリの旅行たいせつとても大切です。たとえば、デイスニーランドも
とても大切です、改めてあらた子供こどもからでした。私はデイスニーランドにいまし
たとき、私の幼少ようしょうに再びふたたび住んでいます。でも、モナリザとは新しい気分
がありました。長い間後、私は再び幸せさいせでした。しかし、私にとってぜんぶ
旅行はとても大切です。それは色々いろいろ気分まは混ざっています。

ともかく、私はモナリザについて書きました、かのじよは私の人格じんかくからで
す。私はとても照れ屋てやです、したがって私はとても理解りかいされにくい人です。

かぎかぎひみつひみつにつきつきみみほんとうほんとう
私は鍵しめた秘密日記です。人は鍵見つけますときです、本当の私を見ま

す。モナリザと私の出会いは友情であ ゆうじょうでした、私はかのじよの鍵を見つけましたからです。かのじよも私の鍵を見つけました。私はその瞬間えいえん覚えています、私たちは一人からではありませんでした。

Glossario

ともだち

友達: amico

りょこう

旅行: viaggio

かぞく

家族: famiglia

好きな: preferito

おも

思い: ricordo

ぜんかい: ultima volta (last time)

行く (iku): andare

志年 (shin nen): capodanno

多い (ooi): molti

モニュメント: monumento

見ました (mimashita): ho visto

たとえば: per esempio

エッフェルとう: torre Eiffel

ともかく: tuttavia

気分 (きぶん): sentimento

とくに: specialmente, in particolare

とき: quando

目 (め): occhi

ふしぎ: mistero, enigmatico

びっくり

吃驚: sorpreso

関係 (kankei): relazione

おだ

穏やか: calmo, armonioso

しゅんかん

瞬間: momento

世間 (せけん): mondo

きよかん

巨漢: empatia

かんこうきゃく

観光客: visitatori, turisti

だけ: solo, semplicemente

しょうぞう

肖像: ritratto

かのじよ: lei (terza persona singolare)

せいしん

精神: anima, spirito

ごかい

誤解: incompresa

がいけん: apparenza esteriore

だけ: solo

時々 (ときどき): a volte

たいせつ

大切: importante

改めて (あらためて): di nuovo

子供 (こども): bambino

ついて: al riguardo (about)

書きました (かきました): ho scritto

人格 (じんかく): personalità

であい: incontro

ゆうじょう

友情: amicizia

えいえん: per sempre

覚えています (おぼえています): io ricordo

て や

照れ屋: timido

したがって: quindi

かぎ

鍵: chiavi

ひみつ

秘密: segreto

につき

日記: diario

み
見つけます：trovare (presente
affermativo)
長い間 (ながいあい) : lungo
periodo

ふたた
再び：di nuovo
す
住む：vivere

対話

私のテーマは「モナリザと私」です。対話は私の好きなともだちリヴィアさんとしました。

1. どうして私はパリとモナリザについてはなしますか。

リヴィアさん	どうしてあなたは旅行 <small>りょこう</small> が好きですか。
私	私は旅行 <small>りょこう</small> がすきです、おもしろいからです。別 <small>べつ</small> 文化 <small>ぶんか</small> や人 <small>ひと</small> や場所 <small>ばしょ</small> など見つけるのがすきです。私の人生 <small>じんせい</small> の夢 <small>ゆめ</small> は世界 <small>せかい</small> 見ることです、旅行 <small>りょこう</small> で私のこともっと分かるからです。とくに、私はパリの旅行がとても好きです、いい思いがあります。
リヴィアさん	あなたはただしいです。旅行 <small>りょこう</small> は楽しくて便利 <small>べんり</small> です。でも、モナリザもについて話します。どうしてあなたはモナリザが好きですか。
私	私はモナリザがすきです、ふしぎです。私にとってモナリザはかんたんな肖像 <small>しょうぞう</small> ではありません。リヴィアさん、モナリザについてのあなたの考えは何ですか。
リヴィアさん	今までに私はモナリザを見ません。でも、あなたの考え <small>りかい</small> を分かります。それはとても理解 <small>え</small> されりくい絵です。あなたはほかの絵 <small>え</small> と関係 <small>かんけい</small> がありましたか。
私	はい、たとえば私はムンクの叫 <small>さけ</small> びを見ましたときです。私は美術が大好きです。

かんが ごと
考 え事

この部分ぶぶんで私たちはどうして私はパリとモナリザが好きはなですかについて話しました。私はそれについて考かんがえました。新しい情報じょうほうがありました。それは私の旅行びじゅつと美術じょうねつあかしにたいする情熱証じょうねつあかしでした。

私にとってモナリザも美術として大切そうぞうてきでした。創造的な過程かていと絵えの詳細しょうさいを見ました。この理由おどろから、私は驚おどろきました。

ぶぶん
部分：parte

じょうほう
情報：informazioni

びじゅつ
美術：arte

じょうねつ
情熱：passione

そうぞうてき
創造的な：creativo

かてい
過程：processo

あかし
証：conferma, prova, evidenza

しょうさい
詳細：dettagli

おどろ
驚く：sorprendersi

2. モナリザと私の関係はどんなですか。

リヴィアさん	モナリザとあなたの関係はどんな関係ですか。
私	モナリザと私の関係は友情 <small>ゆうじょう</small> と理解 <small>りかい</small> でした。私は鍵 <small>かぎ</small> でしめたひみつ日記 <small>にっき</small> です。私はかのじよの鍵を見つけました。かのじよも私の鍵を見つけました。これは隠喩 <small>いんゆ</small> です。じつは、私の部屋 <small>へや</small> にひみつ日記があります。
リヴィアさん	あなたは本当に秘密の日記を持っていますか。私はそれを知らせませんでした。ときどきあなたもふしぎです。

	そして、あなたはかぎについて話します。人々はあなたの鍵をどう見つけますか。
私	人々は私の鍵を見つけます、精神を見つけますときです。私は友達を会いますときです、外見を見ません。でも、私は精神見ます。

考え事

この部分他の新しい情報がありました。私は鍵の隠喩を説明しました。私は私の好きな友達と私の日記を話します。リヴィアさんはそれをしらない知りませんでした。

隠喩：metafora

説明します：spiegare

知ります：sapere

3. 私は人々をどう見ますか。

リヴィアさん	あなたはモナリザとあなたの関係のような人々見ますか。つまり、あなたは人々ような鍵しめたひみつ日記を見ますか。
私	人は私の友達です、人の深い気分を分かりますからです。私にとって私の友達の精神はとてもたいせつです。
リヴィアさん	あなたの考えをわかります。でも、私は同意しません。私にとって外見は大切です、人々の表現からです。あなたにとって外見はたいせつではありませんか。
私	はい、たいせつです。でも、私にとって精神はもっとたいせつです。そして、私はモナリザの私の関係

	<p>えいえんおぼ を永遠覚えます、私たちはさびしくありませんでしたからです。私の人生のその期間、私はちょっと悲<small>かな</small>しいでした。パリに幸<small>しあわ</small>せでした。私たちを分かりました。私たちは私たちの深い気分を見つけました。</p>
--	---

考え事

この部分私の考えは変わりませんでした。でも、私はこれについてリヴィアさんと話しました。かのじよの考えは私の考えとちがいます。これはとてもおもしろ面白かったです、私たちはいろいろな意見いけんを持っていますが、私たちは友達ですから。今私たちはからこの対話もっと何をしります。

両行 : viaggio

別 : diverso

文化 : cultura

ばしよ : luogo

人生 : vita

ひょうげん

表現 : espressione,

presentazione

夢 : sogno

世間 : mondo

心得ます : conoscere, capire

肖像 : ritratto

叫び : urlo, grido

愛します : amare

友情 : amicizia

りょうかい

了解 : comprensione

日記 : diario

隠喩 (いんゆ) : metafora

せいしん

精神 : anima, spirito

おぼ

覚えています : ricordare

いけん

意見 : opinione

結論

私はリヴィアさんと私の対話がよかったと思います。

しゅんかん

その瞬間の前、私はいつもモナリザと私について話ませんでした。

たいわ

せいしん

私の対話で、私は精神について話しました、私にとっては人の最も大切な

ことからです。モナリザを見ましたとき、私はかのじよの精神も見て、お互^{たが}
いを理解^{りかい}しました。モナリザは謎^{なぞ}です。人がたくさんモナリザを勉強^{べんきやう}してい
ます。私は美術を勉強^{べんきやう}しません。しかし、かのじよを見ましたとき、詳細^{しょうさい}
を見^みました。創造^{そうぞう}的な過程^{かてい}があることを理解^{りかい}しています。この理由^{りゆう}から、
それは肖像^{しょうぞう}画^がだけではありませんと思います。

私の対話^{たいわ}で、私は理解^{りかい}についても話^わしました、人々は私を理解^{りかい}しません。今
日、私たちの社会^{しゃかい}でコミュニケーションするはとても難^{むずか}しです。私たちは
横多忙^{たぼう}です。しかし、私たちが愛情^{あいじやう}や人情^{にんじやう}や勇氣^{ゆうき}などを広げれば、より
よい世界^{せかい}があると思います。

今^{いま}、私^{わたし}も驚^{おどろ}きます、私^{わたし}はモナリザとすべての美術^{びじゆつ}が好きな理由^{す りゆう}を考^{かんが}
えませんでしたから。

私の友達^{ともだち}は驚^{おどろ}きました。私は私の個人^{こじんてき}的な考^{はな}えについて話^わしたからです。
この対話^{たいわ}で、私^{わたし}たちの考^{かんが}えはおなじではないことが分かりました。で
も、世界^{せかい}は美^{うつく}しいです、私^{わたし}たちはすべて異^{こと}なっているからです。同じでは
ないにもかかわらず、人の考^{かんが}えを理解^{りかい}できます。

思います : penso

美^{うつく}しい : bello

すべて : tutti

異^{こと}なって : diversi

驚^{おどろ}きます : sorprendersi

一般^{いっぱん}な : in generale

理由^{りゆう} : motivazione

にもかかわらず : nonostante

愛情^{あいじやう} : amore, affetto

人情^{にんじやう} : gentilezza

ゆうき

勇氣: coraggio

ひろ

広がる: diffondere

しょうさい

詳細: dettagli

そうぞうてき

創造的な: creativo

かてい

過程: processo

「ストーリーを書くことと私の関係」

パオラ・ムツロン

動機

私はパオラです。

子供(こども)のころからストーリーを書く(かく)ことが好きです、それで私のテーマはストーリーを書くことです。

このストーリーはいつも短い(みじかい)ミステリのストーリーです。大抵(たいてい)妙(みょう)ストーリーを生み出す(うみだす)、でも全文(ぜんぶん)は黒い(くろい)雰囲気(ふんにき)を擁(よう)します(ようすます)。この雰囲気(ふんにき)は複雑(ふくざつ)で難解(なんかい)です。

私は主人公(しゅじんこう)の不安(ふあん)について書くことが大好きです。そして主人公の気持ち(きもち)とかんがえ(かんがえ)だけを書きます。でもこれは私の思い(おもい)の流れ(ながれ)です、事態(じたい)は全然(ぜんぜん)明るくありません。

例えば(たとえば)ストーリーの一つは主人公の二人の関係(かんけい)について書きます。この主人公はおなじ人です、たいへんの二人です。でも私は書きません、丸で(まるで)別(べつ)人間(にんげん)の二人です。

けど、どして私は書きますか。

ときどき私は寂しい(さみしい)感じます(かんじます)、ときどきおこってです、だから私は書きます。

私にとってストーリーを書くことは逆も(とても)大切(たいせつ)です。寝室(しんしつ)に私は紙(かみ)とコンピュータで書きます、その間(そのあいだ)茶

(ちゃ)を飲みます(のみます)。こんなに私の悪い(わるい)思い(おもい)は消えます(きえます)、そしてストーリーは凄い(すごい)成ります(なります)。

主人公の不安はパオラの不安です、それで気持ちが良い(いい)です。

私はストーリーの中(なか)に私の厄介(やっかい)話します(はなします)、こんなに落ち着きます(おちつきます)。

ひとりの世界(せかい)の中(なか)にいけます、そしてあそこに全文をおきます。後(あと)あの悩み(なやみ)について私は話しません欲しい(ほしい)。書くこと
のあと、あの気持ち(きもち)は私を諦めます(あきらめます)。あれは主人公
のです。という訳だ(というわけだ)私はぶんを読み返す(よみかえす)ことが
好きです、でも少し(すこし)人は私のストーリーを読みました(よみました)。

Glossario:

子供(こども): bambino

いつも: sempre

短い (みじかい): breve

ストーリー : racconto/storia

大抵(たいてい): di solito

妙(みょう): strano

生み出す(うみだす): inventare

全文(ぜんぶん): tutto

黒(くろ): nero

書く(かく): scrivere

府に気(ふにき) : atmosfera

擁する(擁する): avere

気持ち(きもち): emozioni

考え(かんがえ): pensieri

丈(だけ): solo

流れ(ながれ): flusso

事態(じたい): situazione

全然(ぜんぜん): per niente

おなじ: uguale, stesso

たいへん: opposti

丸で(まるで): del tutto

別(べつ): diversi

感じる(かんじる): sentirsi	消える(きえる): scomparire
おこって: arrabbiato	成る(なる): diventare
詠む(よむ): leggere	大切(たいせつ): importante
主人公(しゅじんこ う): personaggio principale	飲む(飲む): bere
不安(ふあん): ansia, insicurezza	凄い(すごい): meraviglioso
悲しい(かなしい): triste	厄介(やっかい): preoccupazione, peso
寂しい(さみしい): solo, isolato	落ち着きます(おちつきます): calmarsi
煩雑(はんざつ): complesso, confuso	ひとりの世界(せかい): altro mondo
難解(なんかい): difficile da capire	おきます: mettere
何とか(なんとか): qualcosa	後(あと): dopo
緊張(きんちょう): teso	悩み(なやみ): preoccupazione
寝室(しんしつ): camera da letto	欲しい(ほしい): volere
紙(かみ): carta	というわけだ: per questo
その間(そのあいだ): nel mentre	文(ぶん): testo
こんなに: così	読み返す(よみかえす): rileggere
悪い(わるい): cattivo	少し(すこし): pochi
思い(おもい): pensiero	諦めます(あきらめま す): abbandonare

対話

私のお父さんと私のインタビュー

1- 私の書くことのしかた：私のストーリーは絵画(かいが)です。

私	私はストーリーを話しません、他人(たにん)のわかることたいせつではありません。 私は深い(ふかい)思い(おもい)放します(はなします)だけ。思いの流れ(ながれ)を書くように、単語(たんご)を選ぶ(えらぶ)見据えます(みすえます)。舞台(ぶたい)は大切(たいせつ)ではありません。
お父さん	じゃ、大切ものは主人公の中へあなたの気持ち(きもち)を運びます(はこびます)。でも思いです、そして舞台(ぶたい)は余計(よけい)です。
私	お父さんはストーリーを読みますとき、すこしを舞台(ぶたい)せずにはわかりません、だからお父さんは不安です。
お父さん	私は絵画(かいが)を思いつきます。パオラの思いは絵画(かいが)のようです。絵画は他(ほか)絵画の近くない(ちかくない)にじゃありません。だから内容(ないよう)を高めます。
私	私は白い壁(かべ)に気持ちを置きます(おきます)。だからお父さんは絵画(かいが)見るとき、白い壁(かべ)にありますから、お父さんはその絵画だけ注目(ちゅうもく)します。

考え事(かんがえこと)

壁(かべ)の隠喩(いんゆ)はとても面白い(おもしろい)です。私の思考(しこう)はちょっと難しい(むずかしい)見えました。でも、今、簡単(かんたん)に分かります。白の壁に私の気持ちだけをおくこところみます。

私にとって単語（たんご）はとても大切です。内容（ないよう）を簡単（かんたん）します。それから私は世界（せかい）を複雑（ふくざつ）に見ません。

私はこの易き（やすき）を探します（さがします）、でもあまり見つかりません。単語はぜんぶストリを不可解（ふかかい）ときどきします。

2- どして私はストリを読み返しますとき、ぜんぶ不安は私のじゃありません。

私	私はストリ読み返ます(よみかえします)とき、過去(かこ)の私について読みます。でも気持ち(きもち)は主人公のです、そしてあの不安(ふあん)は私の不安ではありません。
お父さん	あの気持ち(きもち)について考える(かんがえる)ことは危ない(あぶない)です。パオラはパオラを見ます。主人公のストリについて読むとき、パオラは主人公の不安(ふあん)感じます(かんじます)が、パオラの不安ではありません。
私	はい、そうです。そしてあの気持ち(きもち)はほんとですから、私は調子に乗ります(ちょしにのります)。
お父さん	でも、パオラさんの気持ちについて読み返すとき、その気持ちを思い出す(おもいだす)とき、何が起こりますか(おこります)。気持ちを感じますか。
私	いいえ、気持ちを感じません。過去のです、そしていつも気持ちと不安は新しいです。 危険(きけん)はこれです。私について読み返すとき、過去を受け付けません(うけつけません)、そして古いの私を責めます(せめます)。その思いは悪い(わるい)です。
お父さん	どしてパオラさんは主人公を責めませんか。

私	分かりません。気持ちは主人公にあるとき、ぜんぶいいです。ときどき私は主人公を抱きすくめる（だきすくめる）ことが欲しいです、そして主人公と笑い出す（わらいだす）ことが欲しいです。
---	--

考え事（かんがえこと）

私が書くとき、泣く（なく）ことと笑い出すことは平常（へいじょう）です。私は私の一人の世界入ります。

私についてよむことが好きではありません、でも気持ちは主人公にあるとき、私は友だちを持っていること信じます（しんじます）。

3 - 私と他人（たにん）登場人物（とうじょうじんぶつ）の関係。

お父さん	パオラさんは気持치를主人公に運びます（はこびます）。パオラさんは他人登場人物（とうじょうじんぶつ）に同一（どういつ）をしますか。
私	いいえ、私の気持ちは主人公だけに運びます。他人の性格（せいかく）と思うのは難しい（むずかしい）です。
お父さん	どしてパオラの思いは主人公だけと共用（きょうよう）しますか。
私	それは良くない（よくない）。奴ら（やつら）は別個（べっこ）です、奴らの性格（せいかく）は丸っきり（まっきり）他人です。実現世界にも同じ（おなじ）です。
お父さん	じゃ、パオラさんどのようにその登場人物（とうじょうじんぶつ）についてかきますか。
私	奴ら（やつら）について書くことは複雑（ふくざつ）です。私は私から退く（どく）ことを下手（へた）です。それから他人の気持ちについて話すことは時間がかかって詰まらない（つまらない）です。

お父さん	<p>分かりました。パオラさんは誰かを書きます。はじめに、その人を研究（けんきゅう）します。でもその研究は好きではありません。パオラさんは流れ（ながれ）で書きます。じゃ、どう何道登場人物（どうじょうじんぶつ）について書きますか。</p>
私	<p>私は主人公の思いで奴らを話します。でもこの手法（しゅほう）は足りない（たりない）です。それから私は主人公だけに注目します（ちゅうもく）。</p>

結論

私のストーリーを思いました、でもそのストーリーについて誰かと話しました。深い思いの流れは私の気まぐれ（きまぐれ）を出す（だす）こと思いました。私の思いに主人公は欠点（けってん）でした。そして私の不安を書くことは大げさでした。ぜんぶテーマの動機は大げさでした。私は書くことが好きでした、でも私は下手でした。

今、私の流れはとても大切です、そしてほんと私の書くことの仕方（しかた）で、これはぜんぜん変わる（かわる）こと欲しいです。主人公は鏡（かがみ）です、それから私は私をじょじょ見ます。私をしみじみ分かるために、不安はとても大切です。痛い気持ちだけでほんと自分をわかります。

対話をするとき、書くことを流れの理由（りゆう）分かりました。日記（にっき）に私の夜の夢（ゆめ）書きます。私の無意識（むいしき）の思いを集めることが好きです。それは私の最も（もつとも）深い（ふかい）思いで、夢にはとても大切です。ときどき、パオラさんは二人います。その人を知る（しる）こと欲しいです。書いて、夢見て（ゆめみて）、私のことが分かります。書くことが好きです。夢はあまり嬉しくない。でもストーリーを書くことは楽しいです。それはし静かで安らか（やすから）瞬間（しゅんかん）です。

Glossario dell' intervista

他人(たにん): altri

深い(ふかい): profondo
放します(放します): liberare
ように: proposizione finale
単語(単語): parole
選ぶ(えらぶ): scegliere
見据えます(みすえます): concentrarsi
舞台(ぶたい): ambientazione
運びます(はこびます): spostare, muovere
余計(よけい): superfluo
せずに: senza
絵画(かいが): quadro
思いつきます(おもいつきます): pensare, venire in mente
のような: come
内容(ないよう): contenuto
高めます(たかめます): valorizzare
置きます(おきます): mettere
引力(いんりよく): attrazione
過去(かこ): passato
かならずしも: non del tutto
危ない(あぶない): rischioso
私は調子に乗ります(ちよしにのります): esaltarsi
ほか: altro
隠喩(いんゆ): metafora
思考(しこう): pensiero
注目(ちゅうもく): concentrazione
ほど: meno

易き (やすき) : semplicità
不可解 (ふかかい) : incomprendibile
思い出す (おもいだす) : ricordare
起こります (おこります) : accadere
危険 (きけん) : rischio
別個 (べっこ) : diverso
受け付ける (うけつける) : accettare
責めます (せめます) : criticare
抱きすくめる (だきすくめる) : abbracciare
笑い出す (わらいだす) : ridere
入る (はいる) : entrare
泣く (なく) : piangere
平常 (へいじょう) : normale
擁する (ようする) : avere
信じる (しんじる) : credere
登場人物 (とうじょうじんぶつ) : personaggio
どいつ: identico
性格 (せいかく) : carattere
共用 (きょうよう) : condivisione
奴ら (やつら) : loro
はじめに: per prima cosa
研究 (けんきゅう) : ricerca
足りない (たいない) : non abbastanza
理由 (りゆう) : motivo
無意識 (むいしき) : inconscio
集まる (あつまる) : raccogliere

もっとも： il più

重視（じゅうし）： importanza

知る（しる）： conoscere

好まれる（このまれる）： preferire

安から（やすから）： calmo

気まぐれ（きまぐれ）： incostanza

出す（だす）： mostrare

欠点（けってん）： difetto

大げさ（おおげさ）： esagerato

じょじょ： gradualmente

「ドラムと私」

ニコロ・タスカ

動機

私はニコロです。私は音楽が好きです、とくに私はドラムを叩くことが好きです。叩くことは楽しくて面白いです、だって毎回私はドラムを叩くことが好きです、でも時々難しいです。楽しいです、気持ちいいからです、音楽を作りますからです。それから面白いです、叩くことは価値を持っていて古い芸術だからです。私はドラムを選びました、責任を課しますからです。だってドラマーは間違えると、しかと毎樂士は間違えます。だから私はとても意欲的です、私は皆さんを導くからです。

私はバンドに叩きます、私のバンドの名前はビキニ・カクタスです、これは奇妙な名前です、しかしバンドの名前の由来は複雑です。私たちの種類はロックとパンク・ロックです。私たちはコンサートをやるのが好きです。私たちはたくさんライブのコンサートをやりました、でも今、私たちは新しい曲を作るときたくさんコンサートをやしません。私はバンドの員をいることが好きです、私たちはバンドに感情を共有しますからです、でも他人を心得ることは簡単ではありません、だった私たちは精が出る。

私にとってドラムは自分の気持ちを示す方法です、私の作るリズムは私の感情を示しますからです。皆さんは私の感情を心得ります、これは私の狙いです。これは私の例です。暗い曲を作ると、悲しみを含みます。それから怒りの曲と反抗の曲を叩くと、たくさん力を使います。リズムがどこにでもあります、リズムは音楽だけありません。心音の

なか
中にリズムがあります、そして歩調ほちょうのなか中にリズムがあります。だから私に
とってドラムを叩くたたことは大切たいせつです。

音楽 musica とくに in particolare 叩きます suonare (la
batteria) 楽しい divertente 面白い interessante だっ
て infatti 毎回 sempre でも tuttavia 時々 qualche
volta むずかしい difficile それから inoltre 芸術
arte 古い antica 選びます scegliere 責任
responsabilità 課します imporre, assegnare ドラマー
batterista 毎楽士 ogni musicista 間違えります sbagliare
意欲的 motivazione 皆さん tutti 導く guidare バンド
band 名前 nome 奇妙 strano 複雑 complicato コンサー
ト concerto 行います fare 種類 genere 曲 brano 員
membro 共有します condividere 他人 gli altri 簡単
facile 精が出る impegnarsi, lavorare duro 自分 mio 気持ち
spirito 示す esprimere 方法 mezzo リズム ritmo 感情
sentimento 心得ります capire 狙い scopo, obiettivo 例 esempio
悲しみ tristezza 含みます esprimere 怒り rabbia 反抗
ribellione 力 forza 行使する esercitare 心音 battito del cuore
歩調 passo, ritmo dei passi 大切 importante

対話

対話1 「どうして私はバンドを叩くたたことが好きすですか」

私	ドラムを <small>えら</small> 選びました、他楽器を <small>ほかがっき</small> 試 <small>こころ</small> みること <small>あと</small> の後、 はじめてドラムを叩いたとき、ドラムは <small>あたら</small> 新しい 感情 <small>かんじょう</small> を示 <small>しめ</small> しました、まだ感じてい <small>かんじょう</small> なかつた感情 でした。
トムさん	私も私の楽器を <small>がっき</small> 選びました、らしくない感情 <small>かんじょう</small> を 示 <small>しめ</small> すからです。でも、どうしてドラムを <small>えら</small> 選びました

	か。どしてこの感情 <small>かんじょう</small> はニコロさん <small>しめ</small> を示しましたか。
私	私にとってドラムは奇 <small>く</small> しき楽器 <small>がっき</small> でした。それに曲 <small>きょく</small> を聞くと、すぐ聞 <small>き</small> く楽器 <small>がっき</small> はドラムでした。
トムさん	ああ、わかりました。じゃあ、ニコロさん <small>みち</small> は道 <small>みち</small> をすでに知 <small>し</small> っていましたね。
私	わかりません…多分それはそうです。
トムさん	私について、すぐ聞 <small>き</small> く楽器 <small>がっき</small> バスじゃありませんでした。でも、お父さんはベースを弾 <small>ひ</small> きました、そして私はいつもベースに興 <small>きょうみ</small> 味 <small>み</small> があります。
いけん 意見をもらって考 えたこと	この対話 <small>たいわ</small> のあと、新 <small>あた</small> しい観 <small>かん</small> 念 <small>ねん</small> はありません。しかしトムさんの意 <small>い</small> 見 <small>けん</small> は私 <small>て</small> を手 <small>て</small> 伝 <small>だ</small> いました。私にとってドラムは大切 <small>たいせつ</small> です、自分 <small>じぶん</small> の中 <small>なか</small> に私はこれをいつも知 <small>し</small> っていました。それどころか、トムさんはとむさんの心 <small>こころ</small> を聞 <small>き</small> きました、そしてトムさんはついにベースに届 <small>とど</small> きました。

対話2 「バンドと私の関係かんけいはどんな関係ですか」

トムさん	バンドについて、一 <small>いち</small> 番 <small>ばん</small> いいのは何 <small>なに</small> ですか。
------	--

私	バンドに叩くと、バンドのメンバーと感情と思想を共有します。
トムさん	その通り。だからこそ、バンドにどんな結果がありますか。
私	楽士は音楽をすると、楽士は気持ちがいいです。それから真の感情をだけ感じます。だからこの感情は音楽を変えません、そしてこの音楽はバンドのメンバーの関係の現われです。
トムさん	ちょっと深いですね。私にとって、バンドの音楽にたくさん感情があります、バンドのメンバーの感情です。だからバンドのサウンドはバンドごとに個人的です。
私	そうです。すべてのバンドがその声をしています。
意見をもらって考えたこと	バンドの作る音楽はとても深いです、バンドの作る音楽にメンバーの感情があるからです。

対話 3

「私にとってどうしてドラムとリズムは大切ですか」

私	リズムを作ると、私は世界との調和です、音楽は世界を染み渡るからです。だから私にとって、私はこの染み渡ることの一部分です。
---	--

トムさん	わかりません、どうしてニコロさんはこれをした か。ええと…理由 <small>りゆう</small> がありますか。
私	いいえ、ありませんよ。私はその時間 <small>じかん</small> に気持ちがい いです、叩 <small>たた</small> きますかです。自分 <small>じぶん</small> の中に私は正しい おこな行 <small>ただ</small> いをわかります。
トムさん	ああ、今 <small>いま</small> 、私もわかります。私は弾 <small>ひ</small> くとき、私も 幸 <small>しあわ</small> せです、特 <small>とく</small> に理由 <small>りゆう</small> がありません。
いけん 意見をもらって考 えたこと	この対話 <small>たいわ</small> のおかげで、私はしみじみと私のテーマをわ かりました。そして私の観念 <small>かんねん</small> は変わりませんでした た。私と音楽 <small>おんがく</small> の関係 <small>かんけい</small> は説明 <small>せつめい</small> するのが難 <small>むずか</small> しいで す、でも私にとって当たり前 <small>あ</small> 前 <small>まえ</small> です、音楽 <small>おんがく</small> は私の いちぶ一部 <small>いちぶ</small> からです。ドラムは私の一部 <small>いちぶ</small> です、そして叩 <small>たた</small> ことは私 <small>わたし</small> を生き生き <small>い い</small> と感じ <small>かん</small> させる。

えら 選びます	scegliere	ほかがっき 他楽器	altri strumenti	こころ 試みる
provare	あと 後 dopo	く 奇しき	misterioso	がっき 楽器 strumento
き 聞きます	ascoltare	みち 道 strada	し 知 sapere	お父さん
padre	ベース basso elettrico	ひ 弾きます suonare	きょうみ 興味	
essere interessato a	かんねん 観念 idea	いけん 意見 opinione	てっだ 手伝	
aiutare	ついに alla fine	とど 届きます giungere	しそう 思想	
pensieri	きょうゆう 共有 condividere	けっか 結果 conseguenza	がくし 楽士	
musicista	しん 真 realtà	かん 感じます provare un sentimento		
へん 変ずます	essere trasformato	こじんてき 個人的 personale	ふか 深い	

profondo すべて ogni ^{こえ}声 voce ^{あら}現われ
 rappresentazione ^{たも}保ちます tiene, porta dentro ^{せかい}世界 mondo
^{ちょうわ}調和 armonia ^{し わた}染み渡ります pervadere ^{ひと ぶぶん}一つの部分 una
 parte ^{とく}特に particolare ^{りゆう}理由 motivo, ragione ^{じかん}時間
 istante di tempo ^{ただ おこな}正しい行い fare la costa giusta ^{おかげで}
 grazie a ^{しみじみ}しみじみ profondamente ^か変わります cambiare ^{せつめい}説明
 する spiegare ^{あ まえ}あたり前 naturale ^{いちぶ}一部 parte ^{い い}生き生き vivo,
 in vita

結論

このアクションゼロの^{さくひん}作品は^{はんせい}反省に^ね根ざします。キーワードがあります、
 そしてキーワードはこの^{はんせい}反省の^{おも}主な^{あらわ}ポイントを^{さいしょ}表します。最初のキーワ
 ードはリズムです、これは私と^{せかい}世界の^{せつぞく}接続からです、リズムおかげで私は
^{ちょうわ}調和を見つめます。二番目のキーワードは^{かんじょう}感情です、^{おんがく}音楽の^{こころ}心は
^{かんじょう}感情からです、メンバーが^{かん}感じる^{きも}気持ちです、そして^{おんがく}音楽を^{つう}通じて^{あた}与
 えられた^{かんじょう}感情です。いうまでもなく、三番目は^{さんばんめ}ドラムです、^{がっき}私の^{がっき}楽器か
 らです、それからこの^{おお}大きい^{はんせい}反省の^{しゅつぱつてん}出発点からです。

このプロジェクトのおかげで、私は自分の^{テーマ}テーマについて考えます、はじめに
 私は^{かんたん}テーマを^{かんたん}簡単だと考えました、次に^{つぎ}テーマを^{ふか}深く^{しら}調べました、だから私
 は^{おお}テーマについて^{おお}多くのことをわかりました、しかし、^{じぶん}なによりも自分につい
 て^{おお}多くのことをわかりました。ドラムについて^{かんが}考えはありました、でも、
^{いま}今私と^{がっき}私の^{かんけい}楽器の^{ふか}関係を^{りかい}深く理解しています。リズムと^{せかい}世界の^{かんけい}関係につ
 いて^{はな}話して、^{かんが}考えました。そして私と私の^{ひかく}いとこを比較しました、これも
 私を^{てつだ}手伝いました。最後に、私の^{さいご}考えは^{かんが}変わりませんでした、^か観念は^{かんねん}同

じからです。前まえにこの観かん念ねんはわかりませんでした、そしてこの探たん査さのあと後ごに
自分じぶん自身じしんをもっとはつきりと見ます。

さくひん 作品 lavoro はんせい 反省 riflessione ね 根ねざざししまます venire da おも 主おもななポ
イント punti principali あらわ 表あらわししまます rappresentare さいしょ 最さい初しょ il
primo せつぞく 接せつぞく続ぞく collegamento み 見みつつけけまます trovare にばんめ 二に番ばん目め il
secondo つう 通つうじじて attraverso あた 与あたええる dare しゅっぱつてん 出しゅ発っぱつ点てん punto di
partenza
はじめに inizialmente つぎ 次つぎに in seguito ふか しら 深ふかく 調しらべべまます
approfondito おお 多おおくくののここと molte cose なによりも
soprattutto ふか りかい 深ふかく 理り解かいししてていいまます capire più a fondo せかい 世せ界かい
mondo いとこ cugino ひかく 比ひ較かくししまます confrontare てっだ 手て伝だいいま
す aiutare さいご 最さい後ご infine かんねん 観かん念ねん idea おな 同おなじ uguale たんさ 探たん査さ
esplorazione じぶんじしん 自じぶん身じしん me stesso もっとはつきり più
chiaramente

